

平成23年3月17日

民主党神奈川県総支部連合会
地震対策本部長 笠 浩史
本部長代行 水戸 将史

東北関東大震災への緊急要請について

日頃のご協力に感謝申し上げます。

今般の東北関東大震災は、地震・津波並びに原子力発電施設の損傷による住民への影響は計り知れないものがあります。

被害者への救済が急務の現状に鑑み、貴地方自治体として最善の施策を構築し以下の項目についてご検討されるよう申し入れます。

尚、政府に対するご要望並びご意見については、当神奈川県連が窓口で対応させていただきますので、お申し付け下さいますようお願いいたします。

《 要請事項 》

1. 多数の被災者が住居を失っております。県内公営住宅の受け入れを速やかに検討し、実施して下さい。
2. 被災地に対して救援物資を送りたいという有志県民が多数いると聞いております。至急、その受け入れ窓口を設置して下さい。
3. 大地震による製油所のダメージでガソリン不足が生じ、ひいては人命に関する輸送手段にも影響を与えております。輸送手段に対する給油の優先順位をつけることが可能か否かのご検討と、とりわけ製油元である磯子区・JX日鉱日石工場の現状を把握しつつ再開に向けての情報開示をしていただき、県民生活に安心感を与えて下さい。
4. 計画停電による県民生活の混乱が随所に散見されます。四月以降、夏場までの一定期間以上この状態が続くことも想定されますが、どのような混乱が起きるかを事前に察知し、未然に対処できるような計画を策定して下さい。

5. 大地震による各鉄道会社全線ストップが、都市近郊における多くの帰宅困難者を生じさせました。現況の防災マニュアルでは、指定避難場所における受け入れは地域住民を想定しておりますので、それ以外の勤務者や帰宅者の受け入れも想定しつつ、その受け入れ対策や帰宅誘導対策（公共交通の積極的な関わりも含め）を講じて下さい。

以上